

8. (公社)東京都ペストコントロール協会に寄せられた害虫獣の相談件数 —特に多い種類と急増している種類について—

(公社)東京都ペストコントロール協会

谷川 力[○]・藤田洋三・江島裕徳・元木 貢・清水一郎

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の会員の事業の一つに、有害生物の被害に悩まされている都民の相談に応じるため害虫相談所を設置し、相談員が無料にて電話または現地調査を実施して適切な助言を行っている。この相談件数は種類別、月別にまとめられている。今回、その集計した結果を相談の多い種類・急増している種類については10年間分、季節的消長では5年間分のデータをまとめた。

相談件数の総数の推移では2009年が5,159件であった件数が、2018年には8,305件と1.6倍になった。このうち、伸長率が高いものはハチ類、ハクビシン、トコジラミ、コウモリがあげられる。2018年の相談件数の上位は、ハチ類、ネズミ類、ハクビシンの順番であるが、トコジラミが6位となっている。トコジラミは2009年には12位であった。ハチ類・トコジラミ、コウモリは季節的消長が明確で夏季に増加し、冬季に減少する傾向がみられた。しかし、ネズミ類、ハクビシンはそれほど明確ではなかった。以前、ネズミ類では秋季に増加し、冬季にピークを迎え、春季に減少するパターンであったが、近年の結果はその季節的消長が少なくなった。